



損保ジャパン日本興亜 環境財団ニュース

Vol. 9

2019年3月



Sompo Japan
Nipponkoa
Environment
Foundation

発行者／公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL：03-3349-4614 FAX：03-3348-8140

URL：https://sjnkef.org/ BLOG：http://sjnkef.edoblog.net/ E-mail：office@sjnkef.org

1. 市民のための環境公開講座25周年記念「市民のためのSDGsフェス」を開催

当財団が、損保ジャパン日本興亜および日本環境教育フォーラム（JEEF）と協働で開催している「市民のための環境公開講座」が昨年度25周年を迎えたことを記念して、2019年1月26日（土）「市民のためのSDGsフェス」を本社2階大会議室で開催しました。

このフェスは次世代を担う若者に広くSDGsを知ってもらい、何か行動につなげてもらうことを目的に企画しました。

当日は、200名以上の方々にご参加いただき、漫才やトークセッション、企業や団体のワークショップを通じて、SDGsを身近に感じていただくきっかけとなりました。

第1部「SDGsってなに？」

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の芸人、ランパンプスによるSDGsを題材にした漫才のあと、ガリットチュウ、2018年度市民のための環境公開講座に登壇した山藤旅間先生の生徒さん（高校生、中学生）、2018年度CSOラーニング制度に参加の大学生が加わり、東京都市大学の佐藤真久教授を先生とした、学校形式のトークセッションを行いました。参加者は登壇者の体験談を聞きながら、SDGsについての基礎知識を楽しく学びました。



SDGs漫才を披露したランパンプス



第1部トークセッション集合写真



ガリットチュウ福島さんは船越栄一郎さんのモノマネで登場

第2部「SDGsの認識から行動へ」

SDGs達成に向けて取り組んでいる企業や団体による参加型のワークショップや展示ブースが設けられ、参加者はいま話題となっている海洋ゴミのマイクロプラスチック片を使ったアクセサリー作り、フェアトレードの商品購入等により、SDGsに貢献する行動を実践的に学びました。

<参加団体・企業>

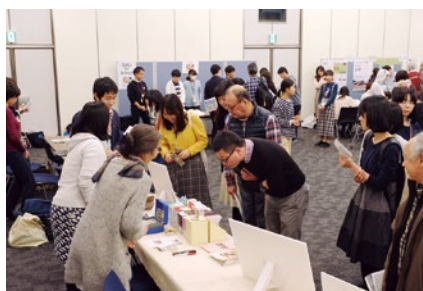
・ピープルツリー、ラッシュジャパン、CSOラーニング制度参加学生有志、SDGs for School、ECOPLUS、日本環境教育フォーラム



プレゼント抽選会も実施しました



第2部SDGs実践企業・団体ブースの様子



多くの方に企業・団体の取組を知っていただくきっかけとなりました



大勢の方々にお集まりいただきました

2. インドネシアでCSOラーニング制度を開始

日本で2000年から実施している環境人材育成プログラム「CSOラーニング制度」。環境財団が学生を環境NGOにインターン派遣し、活動時間に応じて奨学金を払う仕組みです。

環境財団ではこのCSOラーニング制度を2019年2月から新たにインドネシア・ジャカルタでスタートしました。インドネシアは近年急速な経済発展を遂げる一方で過剰な森林伐採、廃棄物処理など多様な環境問題を抱えています。昨年10月、20名の募集に対して41大学・142名と7倍の応募があり、書類審査・面接の結果、第一期生20名を選抜しました。

ラーニング制度のスタートにあたり2月6日、ジャカルタで参加学生、受入先NGOを集めてキックオフ式典を開催しました。

制度の概要

- 名称：NGO Learning Internship Program in Indonesia
- 募集対象：インドネシアの大学生・大学院 20名
- 派遣先NGO：インドネシアに所在する環境NGO(10団体)に派遣
- 期間：2019年2月～9月まで8か月間
- 参加学生は期間中、NGOでのインターン活動に参加し環境保護の実務を経験すると同時に、学生間の情報交換・懇親を図りお互いに切磋琢磨していきます。

二宮理事長からメッセージ

「持続可能な社会構築のための社会変革をリードできるのは若者以外にはない。皆さんの行動力とネットワークに期待している。」

参加学生代表の決意表明

「このプログラムを通じて環境問題に携わるNGOで体験を得られると同時に、環境問題に関心を持つ新しい仲間と出会えることが魅力。積極的に参加したい。」



会場の様子



英語で挨拶する二宮理事長



来賓の環境林業省Jo Kumala局長



本プログラムとキックオフ式典の様子は、企業とNGOが協力した環境人材育成事例として現地メディアでも取り上げられました。



記者の質問を受ける二宮理事長

3. CSOラーニング制度が第9回キャリア教育アワード優秀賞を受賞

「キャリア教育アワード」は、優れた教育支援活動の取組を奨励・普及・促進することを目的として、経済産業省が企業や団体を表彰するもので、大企業、中小企業、コーディネーターの3部門で優秀賞と奨励賞が選考されます。

当財団のCSOラーニング制度は「CSOの業務を体験することで、環境問題への意識も高めながら、マナーなども身に付けるプログラム。8か月という長期的な設定も効果的と思われる。2000年から始めており拡大を継続してCSO支援という社会価値も含んで展開している」としてコーディネーター部門の優秀賞を受賞しました。

